

文部科学大臣杯 第74回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会 大会要項(案)

ver.20180709

主催	日本学生自転車競技連盟		
共催	公益財団法人日本自転車競技連盟		
後援	スポーツ庁	一般財団法人日本サイクルスポーツセンター	
協賛	公益財団法人JKA	公益社団法人全国競輪施行者協議会	一般社団法人日本競輪選手会
	井上ゴム工業株式会社	WIN AND WIN CO., LTD. (WIAWIS)	株式会社パールイズミ
	セイコータイムシステム株式会社		
運営協力	株式会社日直商会(予定)		

開催期日	トラック：2018年 8月 17日(金)	10時00分	トラック参加選手 ライセンスコントロール・ゼッケン配布 (於：トラック競技場内 10:45 終了)
		11時00分	トラック監督会議 於：トラック競技場内
		12時00分	開会式
		13時00分	競技開始
	8月 18日(土)	8時00分	競技開始
	8月 19日(日)	8時00分	競技開始
		15時00分	トラック部門表彰式 (於：トラック競技場内 16:00 終了)
ロード	9月 1日(土)	14時00分	男女ロード・ライセンスコントロール・ゼッケン配布 (於：美麻支所 14:45 終了)
		15時00分	女子監督会議 於：美麻支所
		15時30分	男子監督会議 於：美麻支所
	9月 2日(日)	7時45分	女子競技開始(5周=63.0km予定)
		10時00分	男子競技開始(14周=176.4km予定)
		15時30分	ロード部門表彰式・総合表彰式・閉会式 (於：美麻支所 16:30 終了)

会場 トラック：静岡県伊豆市大野 日本サイクルスポーツセンター 伊豆ベロドローム(250m)
 ロード：長野県大町市美麻地区 公道周回コース 1周 12.6km(予定/一部コース変更の可能性あり)

大会主旨 本大会は、当該年度の日本学生自転車競技連盟(以下、「本連盟」という)の学校対抗形式による種目別の優勝者を決め、種目別の順位により与えられる対抗得点の合計をもって選手権校を決定する大会である。

競技種目

- 男子の部：スプリント、1kmTT、ケイリン、4kmlP、タンデムスプリント、4kmTP、チームスプリント、オムニウム、マディソン、個人ロードレース 176.4km予定(14周=176.4km予定)
- 女子の部：スプリント、500mTT、3kmlP、チームスプリント、オムニウム、マディソン、個人ロードレース 63.0km予定(5周=63.0km予定)

参加資格

(男女共通)

1. 当該年度に有効な、公益財団法人日本自転車競技連盟(以下「JCF」という)登録競技者のうち、本連盟登記選手。

(男子トラックレース)

- 当該年度版学連大会参加基準を満たしている者。補欠選手も大会参加基準を満たしていること。
- 1人2種目迄、但し4kmTP、チームスプリントはこの数に含まない。1校あたりの最大人数は補欠を含め13名迄とする。
- 各校種目別のエントリー可能人数は次の通り。
スプリント=2名迄、1kmTT=2名迄、4kmlP、ケイリン、オムニウム=1名、タンデムスプリント、マディソン=1組、4kmチームパーシュート=1チーム(6名/出走4名)、チームスプリント=1チーム(5名/出走3名)
- 補欠選手登録は、各校トラック各個人種目1名、タンデムスプリント・マディソン2名迄とする。
- 4kmTP、チームスプリントについてはラウンド毎の選手変更を可とし、当該競技番組開始1時間前迄に出走者変更の有無に係わらず、出走者リストをセクレタリに提出のこと。
- マディソンの参加条件については以下の通りとする。UCI、JCF及び学連主催大会のマディソンレースにおいて走行経験のある者とする。補欠についても同様とする。なお、エントリー数により予選を行う場合がある。

(女子トラックレース)

- 1人2種目迄、但しチームスプリント、マディソンはこの数に含まない。
- 各校種目別のエントリー可能人数は次の通り。
スプリント、500mTT、3kmlP、オムニウムは各校2名迄、マディソンは2組迄、チームスプリント1チーム(3名/出走2名)。
- 補欠選手登録は、各校トラック各個人種目1名迄。
- チームスプリントについてはラウンド毎の選手変更を可とし、当該競技番組開始1時間前迄に出走者変更の有無に係わらず、出走者リストをセクレタリに提出のこと。

(ロードレース)

12. 男子は当該年度ロード・カテゴリ・クラス1若しくは2に属する者。1校8名迄、補欠選手登録2名迄。最大計176名。尚、出走予定人数が176名を越えた場合、下記の順に176名までを選出する。

(1) 本年度ロード選手権ランキング

(2) 前年度のロード選手権ランキング

(3) 本年度ロード・クラス1、RCS ランキング

(4) 本年度ロード・クラス2、RCS ランキング

なお、補欠については本年度ロード・クラス1または2とし、上記人数に含まない。

13. 女子は1校6名迄、補欠選手登録2名迄。

(チーム監督)

14. チーム監督はUCIコーチ資格、日本体育協会上級コーチ・コーチ・指導員資格、JCFチームアテンダント所持者に限る。

参加申込

1. 参加を希望する選手は、所定の様式にて本連盟事務局まで電子メールにより申し込むこと。エントリー専用電子メールアドレス (entry@jicf.info) への到着を以て参加申込の正式受領とするが、同一内容を郵送もしくはファクシミリにて期限内に送付する事。申込書式はJICFウェブサイトより入手できる。尚、トラックとロードそれぞれ専用の書式を使用するので、間違わないこと。
2. 参加料は正選手・補欠選手にかかわらずトラック、ロードそれぞれ1名5,000円。
3. トラックの申込期限及び参加料納入期限は、7月17日(火) 必着、ロードの申込期限は7月30日(月) 必着とする。尚、ロードについて、参加申込者数が176名を超えた場合には、上記の参加資格12の方法により選出を行い、本連盟HP上に176名の参加申込可能者のリストを掲載する。参加申込可能者は本連盟HPで発表する期日までに、下記の口座へ参加料を振り込むことで、ロードのエントリー手続きが完了する。
4. 参加料の送金は、銀行口座振込とする。送金名義人について、トラックは振込元に大会コード0817と、XX大学等、必ず学校名を、ロードは振込元に大会コード0902と、XX大学等、必ず学校名を記入すること。
振込先 長野県労働金庫(ろうきん) 諏訪湖支店 普通 9687387 口座名義 日本学生自転車競技連盟
5. 如何なる理由があろうとも、参加料の返金は行わない。正当な理由なき欠場者には、参加料と同額のペナルティーを課す。

出場者受付

1. トラックの参加選手は8月17日(金)トラック競技場にて10時00分から10時45分までライセンスコントロール及びゼッケン等の配布を行うので、ライセンスと登録ユニフォームを持参すること。
2. トラック競技は各競技種目の最初の競技開始前に招集所にて個々の招集受付(補欠選手の起用も含む)を済ませること。
3. 参加者は、自転車・ヘルメットを持参して各ラウンド出走15分前までにバイク・インスペクションを受けること。
4. 正当な理由なく前項の規定を履行できない選手は、参加することは出来ない。
5. 4kmTP、チームスプリントを除き、予選に参加した選手以外の選手が予選以降の競技に出走することは認められない。
6. ロードの参加選手は男女とも9月1日(土)美麻支所にて14時00分から14時45分まで、ライセンスコントロール及びゼッケン等の配布を行うので、ライセンスと登録ユニフォームを持参すること。男女ともロード監督会議の終了を補欠選手起用届の提出の最終期限とし、その際、不出場となる正選手のゼッケンと引き換えに補欠選手のゼッケンを配布する。これ以降の補欠選手起用届の提出は正選手の病気・怪我などの理由を除き、基本的に認めない。

対抗得点

1. 男子については、以下の各種目の最終順位に従い、つぎの対抗得点を与える。なお、男子のトラック団体種目とは4kmTP、チームスプリントをさす。尚、男子オムニウムは団体種目の得点を適用し、マディソンは個人種目の得点とする。

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11~15	16~20
トラック個人種目	9	7	6	5	4	3	2	1				
トラック団体種目	14	12	10	8	6	4	3	2				
ロード	14	12	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

ただし、男子ロードレースについては各校ごとに上位3名迄のみが得点の対象となる。空位得点の繰り上げは行わない。

2. 女子については、以下の各種目の最終順位に従い、つぎの対抗得点を与える。

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
トラック個人種目	7	5	4	3	2	1				
トラック団体種目	10	8	6	4	3	2				
ロード	10	8	6	5	4	3	2	1	1	1

ただし、女子ロードレースについては各校ごとに上位2名迄のみが得点の対象となる。空位得点の繰り上げは行わない。女子のトラック団体種目とはチームスプリントをさす。女子オムニアムの対抗得点は個人種目の得点を適用する。

3. 総合順位は、男女別ロード部門とトラック部門の対抗得点の合計の多寡をもって決定する。同得点の場合には、トラック競技・ロード競技の各種目上位8名までを対象として、上位者が多い学校を上位とする。

賞典・式典

1. 開会式は、8月17日(金)12時00分より、競技場内にて行う。
2. 総合成績・種目別成績について、順位に従って下記の範囲を入賞者とし、つぎの賞品・賞状を授与する。
 - 1) 総合成績 (男子) 優勝: 文部科学大臣杯・優勝旗・賞状、2・3位: 賞杯・賞状、4~8位: 賞状
(女子) 優勝: 優勝杯・賞状、2・3位: 賞杯・賞状、4~6位: 賞状
 - 2) 男子トラック 優勝: チャンピオンジャージ・メダル・賞状、2・3位: メダル・賞状、4~8位: 賞状
トラック部門総合成績: 1~8位: 賞状
 - 3) 男子ロード 優勝: チャンピオンジャージ・メダル・賞状、2・3位: メダル・賞状、4~10位: 賞状
ロード部門総合成績: 1~8位: 賞状
 - 4) 女子(全種目) 優勝: チャンピオンジャージ・メダル・賞状、2・3位: メダル・賞状、4~6位: 賞状
3. トラック種目の表彰式は、第3位以上が出席して、時程表に基づき、競技場内にて行う。
4. ロード種目・総合成績の表彰式は、閉会式の中で行う。
5. 閉会式は、9月2日(日)競技終了後、準備が整い次第行う。会場は大会本部前で行う。

事故措置

1. 競技中発生した事故等について、主催者にて応急処置の範囲の体制は準備するが、以降は各自の責任と費用負担において対応のこと。
2. 各選手は、各々の責任において傷害保険に加入し、健康保険証を必ず持参すること。

競技規則 JCF競技規則による他、詳細は本大会特別規則を定め適用する。

大会特別規則

第1条 (スプリント)

男子は予選タイム上位16名が1/8決勝に、女子は上位8名が1/4決勝に進出する。男女とも1/4決勝は1回戦制で行う。

第2条 (4 kmIP、3 kmIP)

予選の結果により第5～8位を決定する。予選の上位2名により決勝戦を、予選タイム3、4位により3～4位決定戦を行う。

第3条 (タンデムスプリント)

別途定める「日本学生自転車競技連盟タンデム器材運用基準」に適合している器材であると同時に、後輪の駆動側にチェーン引き又は同等の効力をもつ緩み防止装置の装着を義務付ける。装着なき場合はレース・練習を問わず使用を禁ずる。予選の結果タイム上位8チームが1/4決勝へ進出する。1/4決勝は1回戦制で行う。

第4条 (オムニアム)

男子はスクラッチ10km、テンポレース10km、エリミネーション、ポイントレース25kmで行い、女子はスクラッチ7.5km、テンポレース7.5km、エリミネーション、ポイントレース20kmで行う。

男女とも、参加エントリーがトラックの制限 (JCF規則第63条) による最多数の競技者を超える場合は、予選 (ポイントレース) を行う。予選のポイントレースの距離は男子は15km、女子は10kmで行う。

第5条 (4kmTP)

1. 予選においては、追抜きがあった場合でも両チーム完走タイムを計時する。
2. 予選の結果により、第5～8位を決定する。
3. 予選結果の上位2チームにより決勝戦を、予選結果の上位3、4位により3～4位決定戦を行う。

第6条 (ギア比制限) トラック・ロード共にジュニア選手のギア比の制限は行わない。

第7条 (個人ロードレース)

1. 選手受付 選手は、競技開始15分前までにスタート・チェックシートに出走サインを自署する。
2. スタート位置 出走選手のうち、昨年度の本大会本種目における上位10名までの選手に最前列でのスタートを認める。
3. 器材補給
 - 1) 男子・女子共に主催者にて代輪等を積載できる共通器材車を用意する。
 - 2) 各校にて用意した代車・代輪の交換を大会コミュニケにより指定した場所でのみ認める。
 - 3) 事故やパンク等の場合に選手間での自転車、車輪を交換することは、同一校の選手間に限って認める。
4. 食料補給 飲食料の補給を別途大会コミュニケにより指定する場所と周回でのみ認める。
5. 失格の取扱い
 - 1) 原則として、先頭より一定時間遅れた選手及びコミッセルが完走不可能と判断した選手は、失格とし競技より除外する。打ち切り時間は別途定める。
 - 2) 前項の規定以外にも突発事故の発生等により競技中の選手を除外する事がある。その場合はコミッセルの指示に従う事。
 - 3) 競技を中止あるいは除外された選手は、速やかにゼッケンを外すか、ユニフォームを裏返してゼッケンを見えなくすること。ゼッケンとプレートは、責任を持って管理し、完走者のものも含め学校毎にまとめて競技終了後に速やかに大会本部まで返却すること。大会終了までに返却しなかった場合及び紛失した場合は、1枚につき1000円のペナルティーを科す。
6. 正式スタートまでのパレード区間の距離は、大会コミュニケで発表する。
7. ロードレースについては一般公道を走行可能な装備で参加のこと。ベル・反射テープの装着も必須とする。

注意：大会要項は諸事情により変更される場合があるので、JICFウェブサイトを随時チェックすること。